

報道機関各位

緊急時に落ち着いて 119 番通報できるように (119 もしもシート)

～ 家族で 119 番通報や心肺蘇生法の手順を確認してみませんか? ～

1 概要

明石市消防局では、119 番通報の際に不安なくかけられるよう、通報の時のポイントなどを記載した「119 もしもシート」を作成しました。

冬期は感染症の流行や、火災が広がりやすくなりますので、この時期に自宅で 119 番通報の方法を確認して貰えればと思います。

2 特徴

表面は 119 番通報時のポイントのほか、自宅住所を記入できる欄を設けています。シートを見れば落ち着いて通報ができるようになっています。

裏面には、意識がなく呼吸をしていない人を発見したとき、救急隊が到着するまでに心肺蘇生法を行うことの大切さや手順を記載しています。

3 配布先

お近くの消防署や市民センターで配布しています。

明石市消防局のホームページからもダウンロードできます。

緊急時、不安なく 119 もしもシート

119番通報できますか?

正確な場所を伝えられるかな
情報を正確に伝えるかな

いざというとき、不安なく電話ができるように電話の方法をお伝えします。

通報の基本は 指令員の質問に答えるだけ

例

「119番消防です。火事ですか。救急車ですか。」
「救急です。(または) 火事です。」

「出動する住所を教えてください。」
「明石市_____ 氏名_____です。」
安心して下さい! 住所がわかった時点で出動します

「どうしたか・状況を教えてください。」
「30分前から胸が苦しい...etc.」

必要な情報をお聞きし、出動する際に伝えています。

医療相談・医療案内は #7119 にお問い合わせください

この資料のお問い合わせ 明石市消防局 電話: 078-921-0119
情報指令課 FAX: 078-927-0119

表面

一次救命処置

素早く胸骨圧迫 みんなの AED の使用 で命を救おう

救急車到着までの空白時間が傷病者の生命を大きく左右します

救命曲線

心臓と呼吸が止まってからの経過時間 (分)

救命率 (%)

発見された人が救急隊員を見た場合
救急隊が来るまで何もかもが止まる場合

時間の経過により救命のチャンスが低下します。
素早い胸骨圧迫と AED の使用で救命率が上がります

あなたの大切な人を助けるために救命講習を受講してみませんか?

あなたの勇気が人の命を救う

目の前で人が倒れた
倒れている人を発見したら

意識・呼吸を確認し
周りの人に救急車・AED の要請をする

119番通報と AED をお借りします

周囲が安全を確認
あなたの安全が最優先

胸の真ん中を押す

呼吸なし・意識なしの場合
すぐさま胸骨圧迫を行う

乾電池1本分の深さ (約5cm) で
1分間に100回から120回のリズムで押し続ける

1分間に100回～120回の目安
「もしもしカメよ」のリズム

裏面